

2013年 聖霊降臨



親愛なる姉妹、友人の皆さま

聖霊降臨の祝日おめでとうございます！

この時期、教会を通して伝わってくる希望や新しい命を共有しつつ、私たちの「総会」から、特別の機会や祝福、チャレンジを期待し待つことができますように。国際会としての私たちの生活にとってとても意味深いこの時期、それぞれの置かれた状況の中で主がどのように呼びかけておられるか祈りのうちに聴きながら、聖霊が私たちひとりひとりを通して会を刷新し続けてくださるようお願いしましょう。

このたび教皇としてフランシスが選出されたことで、命を与える聖霊の特別な現存に誰もが気付いたのではないのでしょうか。聖ペトロ広場に集まった人々に向けられた教皇様の最初の単純な挨拶「Buona Sera! (こんばんは!)」の瞬間から、新鮮な空気が全教会、全世界に伝わっていきました。この興奮や希望は、その後も教皇様の言葉、人間性、謙遜、単純さ、また、社会のもっとも助けを必要としている人々に対する真の愛を通して、私たちの心に触れ続けています。これはまさに、あらゆる境界を超えて世界中の神の民を新たにするために来られる聖霊の体験です。

“主よ、あなたの霊を送ってください。そして、地の面を新たにしてください” (詩編 104:30)

「神の慈しみはつねに勝利を得ます。この神の慈しみの使者となりましょう。神が、地に水を注ぎ、すべての創造物を守り、正義と平和を反映させることができになるよう、その道具となりましょう。」 (フランシス教皇復活祭のメッセージより)

この聖霊降臨の祝日、教会に聖霊の賜物を与えてくださったことを神に感謝しましょう。また、この総会準備のとき、識別の賜物と特に関係の深い知恵の霊を祈り求めましょう。

識別とは、聖霊に波長を合わせていることです。自分自身の生活であれ、他者の生活であれ、世界の中であれ、そこに聖霊の現存と働きを認める能力です。聖霊の知恵は、考えもしない場所や思いもしない人々のうちに見出されることがよくあります。聖霊がおられるところどこにでも、さまざまな賜物や知恵があります。

旧約聖書に登場するサロモンは、識別の能力、賢明な心と知恵に満ちた王として描かれています。(列王上 3:9-12) 神がサロモンに授けられた知恵は神が見られるようにものごとを

見る能力、つまり、ありのままにものごとを見る能力でした。それは、神が王として立てたイスラエルの民を正しく裁くという彼の使命継続のために必要な悟りでした。

私たちの心に宿る知恵の中心から生きようとするとき、もはや、自分のためだけに生きることとはできません。なぜなら、知恵は心と心を結ぶ金の糸であって、神の心の中で、私たちは皆一つであり、ひとりひとは特別に大切にされるべき存在であることを、毎瞬、思い出させてくれるからです。

体験は知恵の種です。私たちは皆、その体験をもっています。誰も「いのちの学校」から除外される人はいません。そこでは、「頭—知識」の関係ではなく「心—知恵」の関係を学びます。聖霊といのちそのものによって、私たちの心と記憶に蒔かれる知恵の種は、大切にされ、水が注がれ、栄養が与えられなければなりません。祈りのうちに体験を振り返り、どのように応え、行動したらよいか、聖霊の促しに聴こうとするとき、実は、「このこと」を行っています。私たちは、霊的な民として、その行動の源が聖霊であるといえるほどに、聖霊の影響のもとで成長していきます。

「私たちは、聖霊の働きに協力するよう招かれている。聖霊は、私たちの中にも、私たちが遣わされている人々の中にも働いている。聖霊はかれらの歴史の中にも働いている。」

(会の書7) キリスト者としての私たちの生活すべては、人類の歴史の中に、また、すべての被造物の中に働いておられる霊を識別すること、緊密に協力すること、私たちの生活が形作られる最も深い源としていくことです。いったん、聖霊の存在、その強烈な神的存在に気付くようになると、私たちの生活は変わり始めます。また、世界の見方も変わります。‘驚き’の感覚も豊かになっていきます。私たちの希望はよりゆるぎないものになります。また、いままで想像することもできなかった方法で愛することができるようになっていきます。私たちのものの見方が拡がります。預言者イザヤが思い起こさせてくれているように、私たちの天幕を広げています。(イザヤ 54, 2 2007年国際代表者会議 文書参照)

聖霊降臨とはイエスの霊がこの世界にもたらされる出来事です。時間と空間の境界を貫いて私たちの全存在を再創造する愛の力に開く神の祝いです。聖霊降臨は、思いのままに吹く霊の自由さです。自由さにはつきものの「選びと責任」を承知しつつ、私たちに差し出される自由を喜んで受けましょう。霊における自由さとは、霊による自由さのことです。キリストに従うコミットメントを喜んで引き受けることでもあります。それは、「生きているのは、もはや私ではありません。キリストが私の内に生きておられるのです！」(ガラテア 2:20)と宣言するほど完全なものです。また、唯一の本物の自由さを与えられる神への完全なコミットメントです。

聖霊降臨は、また、特別な権能が与えられる時でもあります。ひとりひとりの人間は、イエスの霊を、自分を導く霊であると宣言することができます。この霊によって、私たちは、自由に、

また、イエスを促した同じ霊によって動かされているという信頼をもって、話し、行動することができます。

「総会」を通して神が私たちにもたらそうとしておられる‘新しさ‘に心を開いていきましょう。神からの思いがけない働きかけ、’サプライズ‘！を恐れないようにしましょう。聖霊の賜物、とくに知恵の霊をいただくだけでなく、聖霊ご自身が驚きをもたらしてくださるよう、私たちの内に、そして私たちの間に実りをもたらしてくださるよう心を開いていきましょう。

方子、マリ・アグネスとともに、祈りと霊に満ちた聖霊降臨のお祝いを申し上げます。

マリ

主よ、あなたの霊を送ってください

地の面を新たにしてください！